

経営工学部会 総会と平成23年 6月度研修会の議事録

経営工学部会

部会長 毛利悦造

幹事 河内、末浪

日時：平成23年 6月25日（土） 1時00分より5時まで

場所：（公益社団法人）日本技術士会 近畿支部会議室

出席者（敬称略）

毛利悦造、栗山仙之助、新庄秀光、間島勝彦、前川武彦、坂井剛太郎、辻本攻、三浦卓司、南方英則、萩野 新、村島繁延、大坂吉文、増田卓司、田代芳樹、小木曾健一、波多野彦一、河内弘茂、末浪憲一 以上、参加者 18名

1. 毛利部会長挨拶

幹事選定の手続きを新たに定め皆さんのご承認のもとに選挙する事とし本日選挙結果により幹事を選任しました。信任幹事の互選により新執行部が編成され就任の運びとなりました事は部会組織の確立と発展の基礎を与えるものとなりましょう。手続きは若干煩雑となりますが、民主的手法の宿命として受け止めていただきたい。

今後の発展に寄与されることを新執行部に期待します。

本日は栗山名誉教授の講演に期待し、多数の部会員の出席があり総会に相応しいイベントとなりました。早速拝聴させて戴きましょう。

2. 新入会員の紹介

田代芳樹（技術士 経営工学部門）川重冷熱工業(株) 滋賀工場 生産総括部 工務部長

小木曾健一（技術士 経営工学部門）三菱電機(株) 生産技術センター ものづくり教室長

入会を歓迎し、今後のご活躍を期待します。

3. 6月度研修会（記念講演会）

講師：栗山仙之助先生（日本技術士会名誉会員 大阪工業大学・摂南大学前学長名誉教授）

題名：ITとイノベーション ～モノづくりにおける～

概要：

(1) はじめに

今回の大震災で復興し、さらに飛躍するためものづくりを中心とした工業の発展が中心となるが、そのために、ITを活用する能力開発が重要になる。

(2) ITのこれまで、いま、これから

IT技術の中核である、コンピュータの発展経過と経営効率化に用いられた経過の説明。

IT技術は、事務処理や企業経営だけでなく、社会全体に大きな影響を与えている。その影響はプラス面だけでなくマイナス面でも存在する。そのため正しいIT技術の開発と普及が必要となる。

(3) イノベーションに関して

企業は、継続して発展し社会に貢献するために、従来とは異なる新しい価値を生み出す製品やサービス、マネジメントシステムを提供すること、即ち革新(イノベーション)が必要になる。

イノベーション(革新)とは、それまで世の中になかったこと(インベンション)を世の中に移す行為(アクション)である。

狭義のイノベーション:旧方式から飛躍して新方式を用いること。

広義のイノベーション:人々に新しい価値をもたらす行為。

また、社会に持続した発展をもたらす人間の創造的活動でもある。

(4) 経営情報とイノベーション

企業の継続的発展を実現するための経営組織体が行うさまざまな新規の活動の中でも、経営情報システムの役割について検討する。

ものづくりの歴史的変遷

成り行き管理、課業管理、同時管理、自己制御管理、知的管理の段階がある。

企業に於ける情報システム:企業経営において、ITの普及は単なる技術的变化だけでなく、組織の情報と管理システムの関係をも方向付ける指導概念と言うべきである。

情報システムの変遷と各システムの説明:ADP, MIS, SCMなど10システムの説明
製造業に於ける総合経営情報システムについて:

MIS, SISなどの経営情報システムには、不易と易が内在しているから、不易の部分を重ね層化し、さらにリエンジニアリングの観点から革新が進められるべきである。

総合経営情報システム(TMIS)とは、「コンピュータと通信技術を基調として広範囲にわたる事業の中核的な情報と生産に関わるものの流れを統合化し、さらに情報システムによる競争優位を目指すシステムである。」 TMISはCIM, MIS, SISを含む。

経営自動化システムとは、コンピューター・通信技術と生産技術および管理技術を基調として、広範囲にわたる事業の中核的な情報と生産に関わる物の流れを統合化し、トップの意思決定に従って経営活動の無人化を図るシステムである。(企業方針や新製品企画は人の創造力)

(5) ものづくりイノベーションとIT経営力

IT経営力は、広く情報を処理する組織学習能力(情報実践)、組織内部のマネジメント力(組織実践)、環境の状況・変化への対応力と環境への能動的適応力(環境実践)、及びITの導入と活用への支援(ITインフラ実践)から構成される。また、IT経営力は、相互作用的な情報実践、ITインフラ実践、組織実践、及び環境実践の総合力といえる。

IT経営能力が高くなれば(IT経営の総合評価に関する調査委員会2010:松島・浜屋、2010)

① 人材育成が促進され、創造的組織になる。② 業務の改善・変革が実践される。③ 環境変化への順応と適応が行われ、顕著な組織成果の実現が期待できるようになる。

不確実であり、変化する環境にスピーディーに適応するために、マネジメント技術とITを効果的に活用して、組織的活動を展開し、市場創出と顧客創造、及び顧客満足を実現する競争優位な新製品・サービスの提供を継続的に実施し経営成果を確実にする必要がある。

一方、市場シェアと売上利益率は、マーケティング・営業活動、徹底したコストの削減、原材料市場動向、為替変動などの影響も多大。したがって、新製品の成果のみではない。

以上のことを鑑みて、IT経営力と製品イノベーションとの関係について、次のような仮説と妥当性が個人対象のWebアンケート調査で確認された。

(IT経営の総合評価に関する調査委員会2008)

①IT経営力によって既存業務の質が向上すると、製品イノベーションが促進される。

②新規事業・新製品開発に注力すれば、IT経営力の製品イノベーションの実現可能性を高める。

③主力事業への注力は、IT経営力が製品イノベーションにプラスに作動する傾向がある。

④新規事業・新製品の開発と主力事業に注力すれば、IT経営力は新しい価値を生み出す創造

的工作を増加する傾向がある。

⑤新規事業・新製品の開発と主力事業に注力するのは、競争戦略上の必要性の影響が大きい。

⑥ビジネスプロセス革新とグローバル化の推進は、事業整理と主力事業を推進する。

⑦IT 経営力を強化し、変化する顧客ニーズと期待に応える製品サービス提供の努力をするのは、利害関係者やその他の関係者との関係性構築を前提としている。

⑧IT 経営力は製品イノベーション能力を構成し、主力製品のシェア向上に貢献する。

(6) おわりに

持続的成長を実現するためには、不確実と厳しい環境に適応するための環境マネジメントおよび、分業と調整の枠組みである組織における効果的な協働と組織活性化を実現するための組織マネジメントが不可欠である。ものづくりへの IT 活用も社会技術的課題であり、技術要件とマネジメント要件の整備と充足が実施されなければならない。

(7) 質疑応答

コンピュータを用いた IT 手法を他に先駆けて経営に導入し、大きな経営成果を生み出された体験を随所に取り入れた説明があり、興味深く拝聴でき、講演内容の理解度を深めることができた。IT は各自の身近な問題で、体験に基づく活発な意見交換があった。

4. 総会

(1) 会計報告：資料の不備で次回に報告承認を得ることになった。

(2) 前年度の活動経過報告

(3) 経営工学部会新役員の選挙結果の報告(結果の詳細は、メールで報告済み)

(4) 新役員の選任：選挙の結果を受けて幹事会で立案された新役員(案)が示され、承認された。

部会長	河内 弘茂
幹事(副部会長)	増田 武司
幹事	坂井 剛太郎
幹事	間島 勝彦
会計幹事	池田 洋二
監事	新庄 秀光
顧問	波多野 彦一
顧問	毛利 悦造

5. 活動報告

(1) 前回研究会：4月16日、杉村光二技術士(経営工学)「にわかアフリカ通」参加者16名。

(2) 22年度第一次試験合格者歓迎会：3/12土17:00~19:00 OSTECS階、合格者94名

(3) 22年度第二次試験合格者歓迎会：4/9土15:00~19:30、OSTEC8階、合格者66名

(4) 業務研究会との合同見学会：6/10金~11日土、スプリング8、川重坂出他、参加者18名

6. 連絡事項

(1) 経営工学部会行事予定

8月度研修会：9月3日 坂井剛太郎技術士、於朝日興産「多角化事業に於ける事業再編事例」

10月度研修会：10月15日(予備22日)、杉本哲雄技術士「仮題：CPDと関連事項」

12月度研修会：12月3日(予備10日)

業務研究会との合同見学会：9月16日(金)集合近鉄京都線十条駅、(株)ナベルと(株)さんけい

(2) 本部及び近畿支部行事予定

第38回全国大会(東京)：8/25倫理・防災、26大会、27青年技術士の集い、26日経団連会館「地球再生へのメッセージ~世界・アジア・日本における技術士の役割~」

平成23年度日中科学技術交流会：10月28~29日、場所：大阪南港ATC、

テーマ：「持続可能な社会を目指して」主催：近畿支部
技術士と産学官セミナー：本年度から毎年8支部の内4支部で実施。11月予定
第17回西日本年次大会（九州）論文募集：10/21~22長崎市、
テーマ「高潮災害と水域の汚濁を考える」

7. 自由発言・その他

経営工学部会今後の運営の参考にするため、アンケートを実施した。（欠席者には別途依頼されるので協力をお願いします）

6月度研修会のCPDは、13：15～15：45（2.5時間）で申請してください。

当部会を始めた頃と比べて参加者も倍に増え活発な意見交換がなされてうれしく思う（波多野）
役員改選がなされ、益々の発展を期待します。（毛利）

以上